千葉県こども病院広報　CHIBA CHILDREN'S HOSPITAL

かるがも

第68号

https://www.pref.chiba.lg.jp/kodomo

2026年〈令和8年〉10月

本夏には、熊本県で発生した地震や千葉県での豪雨など大きな災害がありました。被災された方々に心よりお見舞い申し上げます。

医療の質向上にむけての取り組み



病院長　皆川　真規

爽やかな秋の訪れを感じる季節となりました。

当院は来年２月、６回目となる病院機能評価の更新受審を控えております。医療安全や感染対策においては、日頃から各種の外部審査を定期的に受けるなど継続的な質の改善に努めておりますが、今回の受審も病院機能や組織全体の医療の質を客観的に見つめ直す大切な機会と捉え、全院で準備を進めております。

第三者による評価を契機として「安心・安全な医療を提供する」という原点を今一度胸に刻み、更なる医療の質向上と地域の皆さまに信頼される病院づくりに励んでまいります。今後とも変わらぬご支援とご協力を賜りますようお願い申し上げます。

ごあいさつ



医療局長　數川　逸郎

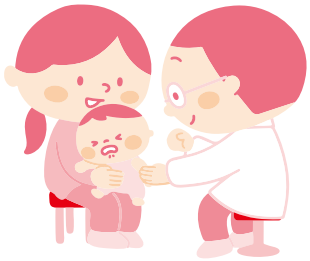
日頃より当院の運営に、格別のご理解とご協力をいただきありがとうございます。

令和６年度より医療局長を拝命しております。医療系ドラマにでてくる医局長とは違い、おもに医師の所属する診療部、薬剤部、検査部の管理を担当しております。

報道でもありますように、多くの病院が経済的に厳しい環境となっており、また働き方改革で職員の心身の健康に配慮した職場環境がもとめられるなかで、皆様に質の高い医療提供が継続できるように組織のあり方や働き方を、今一度見直す必要があると日々感じております。

皆様に「ここにあって良かった」と信頼され続ける病院を目指してまいります。皆様の変わらぬご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

遺伝科のご紹介



遺伝科ってどんなところ?

遺伝科でどのようなことが行われているか、イメージできるでしょうか?

私たちは、お子さんにみられる症状の原因や診断について検討し、その後の健康管理や、ご家系に関係する遺伝情報の整理につなげることを目指しています。その過程で、染色体や遺伝子などヒトの遺伝情報を調べる検査を提案することもあります。

ただし、検査は必ず受けなければいけないものではありません。「まずは治療に専念したい。」「今は原因を知らなくてもいいかな。」など、ご本人・ご家族によって考え方や状況は様々です。遺伝診療を通じて、ご本人・ご家族にとっていい時期や方法を一緒に考えていきたいと思います。

どのような方が対象ですか?

こども病院のため、基本的にはお子さんが対象です。一方で、遺伝情報はご本人だけでなく、ご家族に関係することがあります。

「親族に染色体の変化を持つ人がおり、自分にも関係するのか知りたい」「自分に生まれつきの症状があり、将来こどもを持つことへの影響を知りたい」など、成人の方が相談を希望されることもあります。当科では、相談内容に応じて、なるべく幅広く遺伝の相談に対応したいと考えています。まずは、遺伝科までお問合せください。

ご紹介いただく先生方へ

当科では小児領域を背景とする臨床遺伝専門医と認定遺伝カウンセラーが診療にあたります。診断に至った際には、その内容や健康管理、結果を受けたご家族の様子などについて、ご報告します。遺伝学的な診断には時間を要することもありますが、必要に応じて経過を共有しながら診療を進めてまいります。

千葉県の遺伝医療のために、先生方と連携できましたら幸いです。



感染管理認定看護師



現在、感染管理認定看護師は４名、さらに教育課程修了者が１名在籍しております。

当院には患者さんとご家族、職員を感染症から守るための部門として、感染管理室が設置されており、２名が専従として働いています。

専従看護師は、院内の感染症を予防するための仕組みづくりや、各部門からの相談対応、職員の教育、地域の機関との連携などを行っています。

また、２名の兼任看護師は、所属部署で病棟スタッフと共に看護実践を行ないながら、日々の業務で生じる感染対策に関する疑問や課題に対応し、スタッフへの教育や相談支援を行なっています。

現場に所属している強みを活かし、スタッフの声を直接吸い上げ、専従の感染管理担当者と連携しながら、実践につながる感染対策の推進に取り組んでいます。

［こんな活動をしています］

① 手指衛生推進に力をいれています！





小児患者は、密接・密着の機会が多く、接触感染をするリスクがあります。こどもの命を守るため、手指衛生はとても重要です。

当院は2023年よりWHO手指衛生多角的戦略を導入し、病院全体で手指衛生推進のため活動しています。



活動のひとつとして、部署のスタッフや患者さんと手指衛生啓発ポスターを作成したり、手指消毒剤１本使用ごとにシールを貼り、絵を完成させるキャンペーンなども行っています。楽しく手指衛生ができるよう企画し、取り組んでいます。

② 院外での活動も行っています！

学術集会にて、日頃の活動の発表や、座長を務めることもあり、積極的に院外活動を行っています。

さらに、４名とも手指衛生トレーナー研修を受講し、日々の手指衛生推進活動に取り組んでいます。







トピックス

モルディブの海からこんにちは

日頃よりケアグッズを作成してくださっているボランティア団体「金平糖」の皆さん、草木染作家駒澤菜穂子さん、似顔絵師 浜田ことさん、鶴舞看護専門学校有志の皆さんが、外来ホールへモルディブの海の風景を届けてくださり、ホールは爽やかで心地よい癒しの空間へと生まれ変わりました。

来院された多くの方々が足を止め、美しい景色を眺めながら、ホッと一息つける穏やかな時間を過ごされていました。温かい贈り物を届けてくださった皆さんに、心より感謝申し上げます。

※定期的に外来ホール・周産期センター談話スペースに四季折々の装飾をしてくださっています。





病院にプラネタリウムがやってきた！

山梨県の一般社団法人星つむぎの村による出張プラネタリウムが、千葉県こども病院にやってきました。





午前は入院中の子どものきょうだい、午後は入院中の子どもたちが星空を楽しみました。第一会議室に直径4mのドームが現れ、電気が消えると満点の星が広がり、「うわ〜!」と歓声が上がりました。

きょうだいが面会できない中、時間帯は違っても同じ星空を見上げ、星を介して久しぶりに家族で同じ話題を共有できました。入院中の子どもたちも、広い星空を見上げ、ゆったりと過ごしました。

この企画は、患者さんやきょうだいのためにと頂いた寄附で実現できました。ご支援に心より感謝申し上げます。

〜令和8年度地域医療連携公開講座のお知らせ〜

顔の見える地域医療連携の一環として情報交換および交流を図るため、昨年度に引き続き「令和８年度地域医療連携公開講座」を開催いたします。事前申込制となっております。

日　時　12月5日（土）

場　所　千葉県こども病院

問合せ先　こども・家族支援センター

CHIBA CHILDREN'S HOSPITAL
千葉県こども病院
〒266-0007 千葉県千葉市緑区辺田町 579-1　TEL.043-292-2111　FAX.043-292-3815